

NGAP

NEXT GENERATION ASSET PLATFORM

価格を「予想」するのではなく、
市場に「適応」する。

NGAP は 3 つの軸で投資判断を支援するプラットフォーム

THREE PILLARS

単一のアルゴリズムや単一の AI モデルではなく、数千の売買エージェント × AI 能動選定 × 約 8 年の運用データを組み合わせ、変化する市場環境に対応します。

PILLAR 01 - AGENT POOL

数千体

売買エージェント

長年構築してきた多様な戦略・指標・時間軸のアルゴリズム群。局面別の有効性を担保。

PILLAR 02 - CORE ENGINE



AI による能動選定

「今この相場局面で機能する組み合わせ」を AI が能動的に選定し続ける NGAP の中核機構。

PILLAR 03 - DATA ASSET

8年

運用・評価データ

2018 年以降に蓄積した運用記録と検証データが、AI の判断精度を裏付ける土台。

OUTCOME

利用者が **より多くの情報に基づいた意思決定** を行える環境を提供。
市場環境分析・リスク分析・運用戦略評価を通じた投資判断支援。

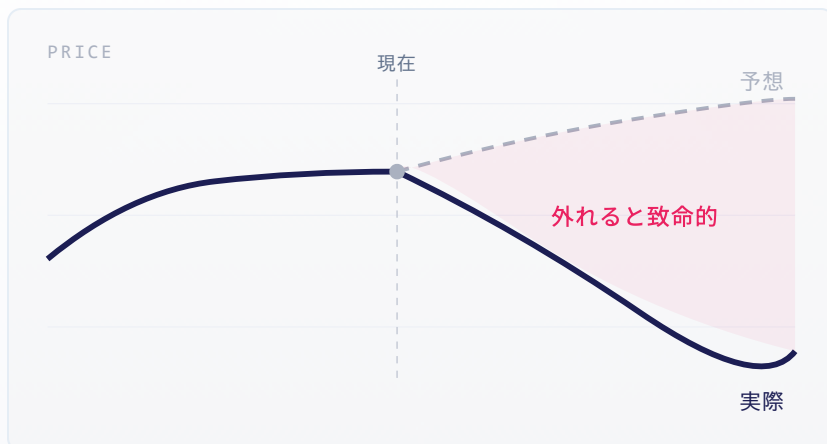
点ではなく「局面」を予測し、さらに「適応」する

PREDICT THE REGIME, THEN ADAPT

NGAP も 予測はします。ただし当てに行くのは一点の価格ではなく、相場の「局面」。
精度の高い局面予測を起点に、その局面へ適応し続けるところまでを担うのが NGAP です。

一般的な「AI 投資」のイメージ

価格を一点で予想して終わり



- 将来の価格を一点で「当てに行く」（固定的・単一シナリオ）
- 予想が外れると機能不全に陥る
- 予測した「その先」の打ち手がない



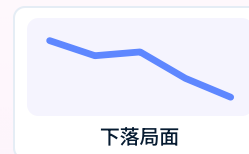
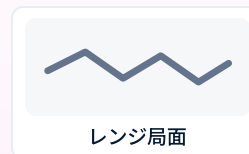
NGAP のアプローチ

「局面」を予測し、その局面へ適応する

PREDICT 点ではなく「局面」を、確率で予測する



ADAPT 予測した局面へ、数千体から構成を組み替える



🔄 1週間後に予測を自動検証 → 教訓を次の局面予測へ反映（自己学習）

人手を介さずに精度を積み増していく自己学習構造

CONTINUOUS IMPROVEMENT LOOP

NGAP は AI が捉えた相場局面の見立てを一定期間後に自動で検証し、「何を当て、何を外し、なぜ外したか」を学習データとして蓄積します。



WHY IT MATTERS

相場環境は刻々と変化するため、過去に有効だったアプローチが今後も機能する保証はありません。検証と学習のサイクルを継続的に回すことで **変化する市場に** 応答し続ける分析基盤 を実現します。

約 8 年の運用・評価データが分析基盤を支える

2018 - 2026

DATA ACCUMULATION

8 年

2018 年以降、運用・評価データを継続的に蓄積。多様な相場局面・低高ボラティリティ局面をまたいだ実データと、各売買エージェントの局面別パフォーマンス記録が、自己学習の原資。

AGENT POOL

数千体

REGIME COVERAGE

Multi-regime

CORE ASSET

短期間では再現できないこのデータ基盤こそが、NGAP を支える中核的な資産。

- 2018 売買アルゴリズム開発・運用データ蓄積を開始
- 2020 投資助言・代理業(関東財務局長(金商)第3180号) 登録
- 2022 多様な相場局面のデータを蓄積、分析モデル評価を加速
- 2025 AI 伴走型サービス「オートプラン」提供開始
- 2026 **NGAP 本格展開**

AI時代の新たな 投資判断支援基盤の構築へ。

当社は今後も、AIによる市場環境分析・リスク分析・投資判断支援の各機能の高度化を進めてまいります。
個人投資家向けサービスに加え、金融機関や資産運用事業者との連携も視野に。

FOCUS 01

個人投資家向けサービスの
機能拡充

FOCUS 02

金融機関・資産運用事業者
との連携

FOCUS 03

AI時代の
投資判断支援基盤の確立

PRESS CONTACT

株式会社 efit 代表取締役 飛田 剛

Email: hida@efit.co.jp

TEL: 03-6206-2236

本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品・投資サービスまたは投資手法の勧誘を目的とするものではありません。掲載内容はサービス概要を説明するものであり、将来の運用成果・投資成果を保証するものではありません。投資には価格変動等のリスクがあり、元本を割り込む可能性があります。NGAP は投資判断を支援するための分析基盤であり、最終的な投資判断は利用者ご自身の責任において行われます。